

2022年1月25日

公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)

最優秀賞 内閣府特命担当大臣賞を、愛知県の吉田光里さんに授与
第37回ACAP消費者問題に関する「わたしの提言」、受賞作品決まる

消費者関連専門家会議(ACAP)が募集・表彰する、第37回ACAP消費者問題に関する「わたしの提言」の受賞作品が決定し、1月25日(火)、東京にて表彰式が執り行われました。

ACAPは1985年から毎年、消費者問題に関する啓発活動の一環として、「わたしの提言」を広く募集しています。37回目となる今回は、以下の6つのテーマで募集し、全国から85作品の応募がありました。

- ①わたしが考える消費者教育
- ②SDGs目標達成のために取り組むべきこと
- ③インターネット社会と消費者課題
- ④成年年齢引き下げに伴う被害防止を考える
- ⑤“消費”で築く新しい日常（令和3年度消費者月間テーマ）
- ⑥消費生活に関する自由課題(テーマ自由)

審査の結果、最優秀賞である内閣府特命担当大臣賞、ACAP理事長賞、入選4作品が選出されました。応募・審査状況および、入賞作品については、下記をご覧ください。



1. 応募状況

項目	内 訳	
応募数	85 作品(学生 62.4%、一般 37.6%)	
応募者の年代	10代 1.2%、20代 58.8%、30代 1.2%、40代 5.9%、50代 9.4%、60代 9.4%、70代 8.2%、80代 2.4%、90代 1.2%、不明 2.4%	
応募者の地域	北海道 1.2%、東北 4.7%、関東 44.7%、中部 35.3%、近畿 5.9%、中国 0%、四国 1.2%、九州・沖縄 7.1%	
応募テーマ	①わたしが考える消費者教育	15.3%
	②SDGs目標達成のために取り組むべきこと	29.4%
	③インターネット社会と消費者課題	21.2%
	④成年年齢引き下げに伴う被害防止を考える	7.1%
	⑤“消費”で築く新しい日常（令和3年度消費者月間テーマ）	3.5%
	⑥消費生活に関する自由課題(テーマ自由)	23.5%

2. 審査状況

(1)一次審査（2021年11月16日、18日実施）85作品より12作品を選出

(2)本審査（2021年12月3日実施）12作品より各賞を選定

<審査委員長> 東 珠実 氏 日本消費者教育学会 会長
 <審査委員> 増田 悦子 氏 公益社団法人全国消費生活相談員協会 理事長
 白石 裕美子 氏 第一東京弁護士会 弁護士
 片岡 進 氏 消費者庁 審議官
 村井 正素 公益社団法人消費者関連専門家会議 理事長

3. 審査結果

敬称略

賞	題名	氏名	所属等
最優秀賞 内閣府特命担当 大臣賞	持続可能な社会へ捧げる学びのバトン ～「教科書リユース」の実施で、 質の高い教育をみんなに～	よしだ ひかり 吉田 光里	金城学院大学生生活環境学部 生活マネジメント学科4年 [愛知県名古屋市中区]
優秀賞 ACAP理事長賞	サリドマイドによる薬害事件から消費者として のあり方を考える	ふじい けんたろう 藤井 健太郎	池田町立池田中学校教員 [岐阜県不破郡在住]
入選	衣服廃棄に伴う環境負荷を減らすための提案 ～SDGs目標12の解決に向けて 我々ができること～	いむら ひかる 飯村 輝 あなくぼ たける 穴久保 武留	獨協大学経済学部経営学科 2年 [埼玉県草加市]
入選	SDGs 目標達成のために学校図書館が 果たす役割 教材としての新聞の重要性	くらはし れいこ 倉橋 麗子	横浜市立中学校学校司書 [神奈川県横浜市在住]
入選	18・19歳の消費者教育 —成年年齢引き下げへ向けて—	にしかわ もえり 西川 萌里	三重大学人文学部法律経済 学科3年 [三重県伊勢市在住]
入選	デジタルプラットフォームの発展と 「変容する消費者」に関する考察 —あるべき市場の秩序を目指して	佐賀大学 経済学部 経 済法3年ゼミ 代表 みやのほら ゆうと 宮之原 裕到 (他9名)	佐賀大学経済学部経済法学 科3年 [佐賀県佐賀市]

■論文は、ACAP ホームページ(<https://www.acap.or.jp>)に掲載いたします(2月上旬掲載予定)。

4. 本審査委員会の講評

<全体>

今回の応募作品は、社会的な課題である SDGs やエシカル消費をテーマにした作品が多く、これまで以上に社会的課題に危機感を感じ、自分事として考える方が増えていることが伺われました。そして、課題を解決するためのアイデアだけでなく、すでに実践されている内容をまとめたものなど、より具体的で実現性の高い作品が多数見受けられました。また、今回は学生からの応募数も多く、全体の6割を超えました。学生の応募比率がこれまでで最も高い回となりました。

<最優秀賞 内閣府特命担当大臣賞>

最優秀賞 内閣府特命担当大臣賞を受賞された吉田光里さんは、金城学院大学生生活環境学部生活マネジメント学科4年生です。吉田さんは、テストが終わった当日に多くの教科書がゴミ箱へ捨てられるのを目にし、「教科書リユース」プロジェクトを立ち上げられました。アンケートの結果を踏まえて、教科書を後輩へ譲渡する仕組みづくりを提案し、実践されています。SDGs を意識した取り組み姿勢や周りの学生をプロジェクトに巻き込むことで周囲の意識を高める効果など、有意義な取り組みが高く評価されました。

<優秀賞 ACAP理事長賞>

優秀賞 ACAP理事長賞を受賞されたのは、岐阜県の池田町立池田中学校教員の藤井健太郎さんです。藤井さんは、薬害事件を題材にした授業を行い、その原因や薬害を起こさない仕組みなどを考えさせる中で、生徒たちに自ら情報を収集することや情報を吟味する大切さを学ぶ機会を提供なさっています。自立的に考える消費者を養成する消費者教育の事例として実践的、効果的であることが高く評価されました。

<入選>

■飯村輝さんと穴久保武留さんは獨協大学経済学部経営学科2年生です。お二人は、近年の衣類の大量廃棄の問題に焦点をあて、廃棄される現状を丁寧に調べ、リユースやリサイクルを提案されています。そのアイデアに独自性があることや、売れ残った衣類の処理まで踏み込んだ手法が新しくかつ具体的であり、実践していく中で運営方法の汎用化まで期待できる、すぐれた提案でした。

■倉橋麗子さんは神奈川県横浜市立中学校で学校司書をされています。倉橋さんは、生徒が SDGs を学ぶ場として学校図書館の利活用と教材として新聞を活用することを提言されています。限られた時間内で生徒が調べたい分野を探し出せるよう、テーマを細分化してファイリングするなど具体的な実践内容と思いのあふれた提言に多くの共感が寄せられました。

■西川萌里さんは三重大学人文学部法律経済学科3年生です。西川さんは、来年から施行される成年年齢の引き下げに伴い、高校生に向けての消費者教育について、授業時間の確保や外部講師の依頼などに課題があるとし、高大連携授業を提言されました。学生同士が学びを深め合うことができる点や、大学生も消費者問題に積極的に理解を深めることなどが期待され、効果的な提言であると評価されました。

■宮之原裕到さんを代表とする佐賀大学経済学部経済法3年ゼミ10名です。プロシューマーやデジタルプラットフォームの問題点について丁寧かつ明確に論じており、それぞれの抱える課題から解決策を考察されていて、今後ますます検討が必要になることが想定される本テーマに対し、重要な指摘をされている点が評価されました。

<最優秀賞 内閣府特命担当大臣賞の要約>

持続可能な社会へ捧げる学びのバトン
～「教科書リユース」の実施で、質の高い教育をみんなに～

金城学院大学生生活環境学部生活マネジメント学科4年 吉田 光里

大学では、最短で 15 回の授業で役を終える短命な書物たちの存在がある。捨てる、保管する、フリマサイトで売る、譲渡するなど。使い終わった教科書や資格の参考書の行方について、学生は自ら選択する。せっかくなら持続可能な社会に適した方法で手放したい。その新たな選択肢として立ち上げたのが「教科書リユース」である。

本プロジェクトは、「教科書や参考書を『譲渡』するプラットフォーム」として、金銭的に不安を覚える人に対しても学びの機会を平等にしたいという想いで始動した。そのため、新品や状態の良さが重視される C to C とは異なる。書き込みがなされた教科書は要点や他者の勉強方法を知る機会として、より「深い学び」の実現に寄与できる。また、学生の教科書に対する認識を変えるきっかけづくりにもなる。「リユース」という持続可能な消費の形を理解し、使用後の教科書をぞんざいに扱わないように。使用後に使う機会がなければ捨てずに寄付しよう。これらの行動は、消費者の「つくる責任 つかう責任」の連鎖にも繋がるだろう。

広がれ！教科書リユースの輪！「質の高い教育をみんなに」を提供する人となることで「持続可能な社会へ捧げる学びのバトン」を繋いでいきたい。

本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)

事務局 赤星、曾良

TEL : 03-3353-4999

メールアドレス : acap@acap.jp

以上

◆公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)

企業や団体の消費者関連部門の責任者・担当者で構成する組織として、1980年の設立以来、企業の消費者志向経営の推進、消費者対応力の向上、消費者、行政、企業相互の信頼の構築に向けて、各種研修、調査、消費者啓発活動、交流活動等を行っています。

英文表記の the Association of Consumer Affairs Professionals の頭文字をとり、ACAP(エイキャップ)の名前で親しまれています。

会員数	正会員667名(528社) 全会員数799名 (2022年1月19日現在)
理事長	村井 正素(むらい まさし) 住友生命保険相互会社
特別顧問	高 巖 (たか いわお) 麗澤大学大学院経済研究科教授
所在地等	【事務局】 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-14-12 玉屋ビル5F TEL 03-3353-4999 FAX 03-3353-5049 https://www.acap.or.jp 【大阪事務所】 〒540-0028 大阪市中央区常盤町 2-1-8 FGビル大阪7階 TEL 06-6943-4999 FAX 06-6943-4900